

取組の名称		奥多摩の森林整備による水資源と生物多様性の保全	
活動主体（団体名）		サントリーホールディングス 株式会社	
活動主体（団体名）（フリガナ）		サントリーホールディングス カブシキガイシャ	
取組の内容 （自由記述）	①概要	「サントリー天然水の森 奥多摩」は、サントリーが展開している全国23か所の「天然水の森」の一つで、「企業の森」として2010年3月に協定締結し、水資源を守り生物多様性の保全と花粉の少ない森づくりのために森林整備に取り組んでいる。	
	②取組内容を確認できるURL （または資料添付）	https://www.suntory.co.jp/eco/forest/activity/okutama/ https://www.suntory.co.jp/eco/forest/activity/okutamaenshurin/ https://www.suntory.co.jp/company/csr/env_water/forest/ https://www.suntory.co.jp/company/csr/data/pdf/biodiversity_report.pdf	
	③実施時期、頻度	通年	
	④活動場所（所在地）	西多摩郡檜原村	
	⑤活動の規模（参加者数）	10名	
	⑥活動状況がわかる写真（撮影年月日）（既に実施している場合）※		
	2013年6月1日	2012年7月13日	
対応する社会課題 （該当する項目にチェック/複数選択可）		<input type="checkbox"/> 子供の福祉（子供の健やかな成長を社会全体でサポート） <input checked="" type="checkbox"/> 都民の健康・長寿（誰もが元気で心豊かに暮らせる地域の実現） <input type="checkbox"/> コミュニティ形成（誰もが集い、支え合うコミュニティを至るところに形成） <input checked="" type="checkbox"/> 防災・減災/気候変動対策（地球温暖化に伴う豪雨や自然災害等の被害軽減） <input checked="" type="checkbox"/> 地域振興（東京全体の生産性、魅力向上） <input type="checkbox"/> 観光・文化振興（人々のウェルビーイング、東京のプレゼンス向上） <input checked="" type="checkbox"/> 農林水産業の成長（危機に強い産業構造への転換） <input checked="" type="checkbox"/> 緑や水辺を生かした空間の創出/自然地保全・管理（都市機能を高め、世界を魅了）	
活用している生態系の機能 （該当する項目にチェック/複数選択可）		<input checked="" type="checkbox"/> 供給サービス（日々の暮らしに必要な資源を供給/食料、繊維、木材、水、薬品など） <input checked="" type="checkbox"/> 調整サービス（二酸化炭素の吸収） <input type="checkbox"/> 調整サービス（都市環境の質の向上/ヒートアイランド現象・暑熱環境の緩和） <input type="checkbox"/> 調整サービス（都市環境の質の向上/大気汚染や騒音の低下） <input checked="" type="checkbox"/> 調整サービス（災害の緩和/台風、洪水、津波、地滑り、雨水浸透、Eco-DRR） <input checked="" type="checkbox"/> 調整サービス（水質の浄化/窒素やリンの吸収、有機物の取り込み） <input type="checkbox"/> 調整サービス（花粉媒介/植物の世代交代、農作物の収穫量の増加） <input checked="" type="checkbox"/> 文化的サービス（精神を豊かにする機能/芸術的・文化的なひらめき、教育的効果、心身のやすらぎ、観光レクリエーションなど） <input checked="" type="checkbox"/> 基盤サービス（生息・生育環境の提供） <input checked="" type="checkbox"/> 基盤サービス（光合成による酸素の生成） <input checked="" type="checkbox"/> 基盤サービス（地力の維持及び栄養循環）	
貢献の内容 （自由記述）	①人間の幸福に対して	森林を整備することで地下水の持続可能性を守りながら商品の品質を確保し、飲料水の供給を行っている。また、森の土を育てることによって森の保水性を向上させ、大雨や台風の際に土砂災害を防止する役割を担うことができる。	
	②生物多様性に対して	植樹の際に周辺の森で種を採取することによるトレーサビリティの確保や、シカの採食圧への対処、針葉樹人工林の間伐による針広混交林への誘導など、森林整備をとおして多様な生物の生息生育環境の保全を図っている。「天然水の森 奥多摩」では多種多様な鳥類や植物の生息が確認されており、今後も鳥類を含む動植物や昆虫などの継続的な生態系モニタリングによる計画的な管理を行っていく。さらに、森の問題に応じて植生や土壌、砂防、病虫害など、さまざまな分野の専門家に研究を依頼し、その知見を整備に活かす「研究と整備を一体化した活動」を進めていく。	